

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 Pembro+SP療法 (S,hydration)	臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2024年7月3日
疾患名	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	21日
診療科名	消化器内科			実施回数	
登録医師名	住井 遼平				
適応	HER2(-)、進行再発胃癌の一次治療				

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日														注意コメント
							day1	day2	day3	-	-	-	-	day14	-	-					
1	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること		
2	生理食塩液 キイトルーダ点滴静注	100 200	mL mg	点滴静注	メイン	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インラインフィルターを使用すること		
3	生理食塩液	50	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	キイトルーダ投与後フラッシュ用		
4	ソルテム3A輸液 静注用マザネソール	500 0.5	mL 管	点滴静注	メイン	60min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
5	アプレピタント	125	mg	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	シスプラチン投与の1時間~1時間半前に服用 ※内服が出来ない場合は点滴に切り替えること		
6	アプレピタント	80	mg	経口			-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	午前中に服用		
7	ソルアセトD輸液 デキザート注射液 6.6mg	500 1.5	mL 瓶	点滴静注	メイン	60min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
8	ソルテム3A輸液 デキザート注射液 6.6mg	500 1	mL 瓶	点滴静注	メイン	60min	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
9	生理食塩液 ハロプロセドロン静注0.75mg	20 1	mL 瓶	静注	側管	緩徐に	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
10	20%マンニトールS注射液	300	mL	点滴静注	メイン	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
11	生理食塩液 ジスプラチン点滴静注液	250 60	mL mg/m ²	点滴静注	メイン	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全量500mLに調製する S-1が処方されていることを確認すること		
12	ソルテム3A輸液	500	mL	点滴静注	メイン	60min	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
13	ソルアセトD輸液	500	mL	点滴静注	メイン	60min	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
14	S-1	80~120	mg	経口			●	→	→	→	→	→	→	休	-	-	-	-			

備考欄
一次治療前に可能な限りPD-L1検査を実施することが望ましい。
S-1 2×(14)MA 内服処方 1.25m2未満 80mg/日、1.25m2以上 1.5m2未満 100mg/日、1.5m2以上 120mg/日

文献
Pembrolizumab plus chemotherapy versus placebo plus chemotherapy for HER2-negative advanced gastric cancer (KEYNOTE-859): a multicentre, randomised, double-blind, phase 3 trial

減量・中止基準
【減量の目安】
(S-1)
・BSA<1.25m2未満
初回40mg/回→休薬
・1.25m2≤BSA<1.5m2
初回50mg/回→40mg/回→休薬
・1.5m2≤BSA
初回60mg/回→50mg/回→40mg/回→休薬
(CDDP)
10mg/m2単位を目安として減量
【腎障害時の投与量変更例(S-1, CDDP)】
Cor≥80→初回基準量
60≤Cor<80→初回基準量 (必要に応じて1段階減量)
※Cor<50における試験結果はない
参照：がん化学療法レジメンハンドブック改訂第7版 P399